

MRC
復職支援プログラム
リワーク・トライアル
Re-work trial

2015年度ご報告

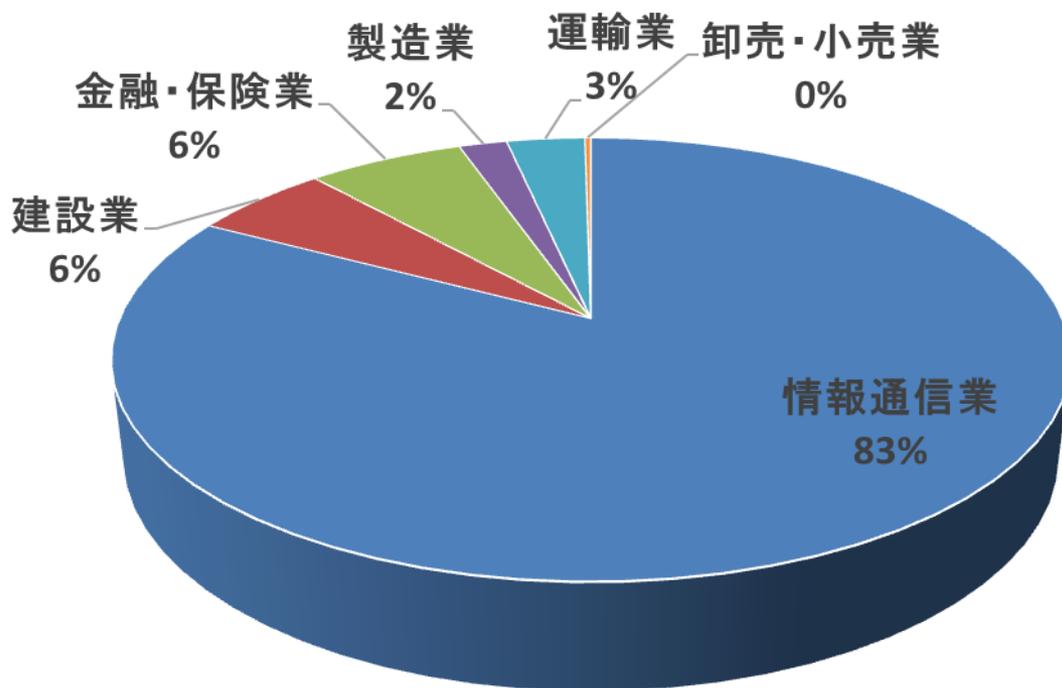
メンタルヘルス・リサーチ & コンサルティング

リワーク・トライアル利用者状況

2011/4/1～2016/3/31

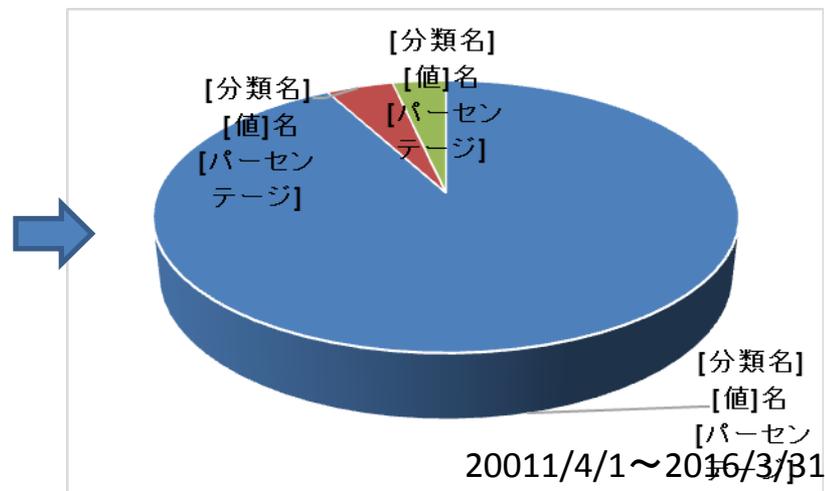
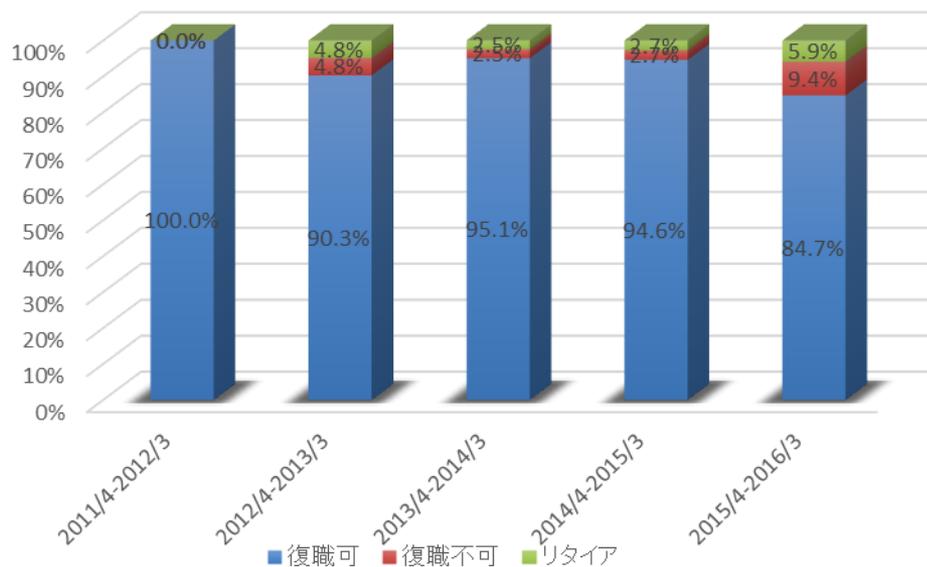
利用者数 413名【うち複数回使用者・追跡不能者計56名】

利用企業数 24社



利用者が所属している企業の業種

リワーク・トライアル利用者の復職状況



	利用者数	復職可	復職不可	リタイア
2011/4-2012/3	42	42	0	0
2012/4-2013/3	62	56	3	3
2013/4-2014/3	81	77	2	2
2014/4-2015/3	74	70	2	2
2015/4-2016/3	85	72	8	5
合計	344	317	15	12

復職不可・途中リタイア者の理由

復職不可 15名

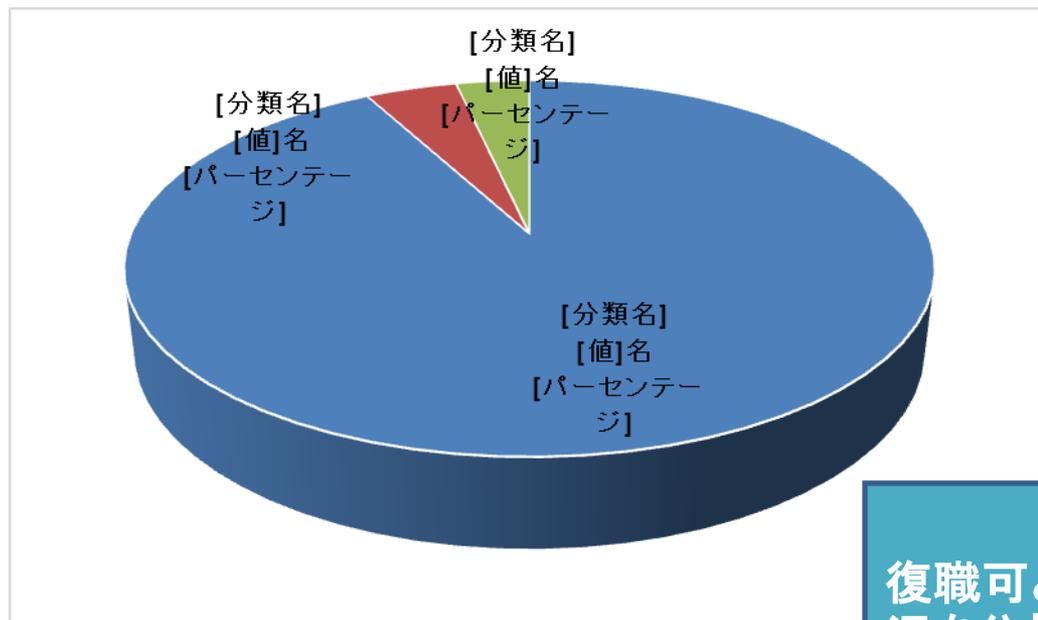
理由	人数
病状の再燃	15
	15

リタイア 13名

理由	人数
病状の再燃	8
デイケアへの通所希望	2
不明	3
	13

リワーク・トライアル利用者の復職状況

利用者数 344名



復職可となった317名の就労状況を分析

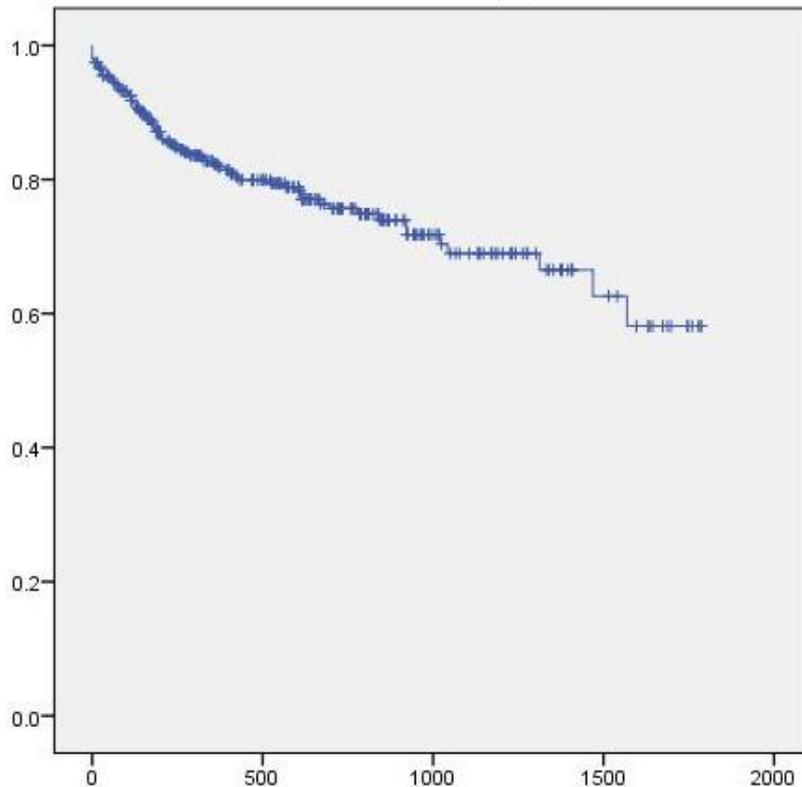
復職者317名の属性

		n=317	
		mean	SD
年齢	(歳)	36.69	±7.789
休職期間	(日)	363.38	±286.503
		n	%
性別	男	226	71.3
	女	91	28.7
主治医診断書の病名	うつ病	105	33.1
	抑うつ状態	91	28.7
	双極性障害(躁うつ病)	31	9.8
	適応障害	43	13.6
	不安障害	5	1.6
	その他	42	13.2
業種	情報通信業	275	86.8
	建設業	11	3.5
	金融・保険業	22	6.9
	製造業	7	2.2
	運輸業	2	0.6
企業規模	1000人未満	68	21.5
	1000人以上	249	78.5

復職者313名の就労継続状況

◆ Kaplan-Meier法による就労予後分析 (2016年3月31日現在)

就労継続割合 (%)



【追跡対象者 313人】

※317人中4名は追跡不可

就労継続推定値

1年後 81.9% (SE2.3)

2年後 74.9% (SE2.9)

就労継続期間 (日)

まとめ

就労の見極め

主治医が復職を許可したものでもトライアルを行うと約2割のものが復職不可または途中リタイアとなった。トライアルの目的の一つである「就労できる状態かどうかの見極め」については一定の成果があったと示唆される。

就労へのリハビリ効果

主治医が復職可能とする状態は、多くの場合、日常生活レベルであり、復職後の働き方を考えるまで至っていない。トライアルを行うことにより生活レベルが上がり、プログラムは今後の働き方を考える場となる。そのような面から就労へのリハビリ効果があると思われる。

再休職予防

トライアルのもう一つの目的として再休職予防があるが、トライアルを経て復職した者の就労継続推定値については1年で81.9%2年で74.9%となっている。2011年に当社が調査したトライアルを行わず復職した者292名の就労継続推定値¹⁾については1年で74.8%であった。このことからリワーク・トライアルについては一定の再休職予防効果があったと示唆される。

¹⁾n=292 男198名女94名 年齢平均値33.8歳 休職期間平均値292日 2011年8月調査